

マイトップニュース

夢の技術実現へ協力を

SF作品に登場する架空のテクノロジ、「宇宙エレベーター」の技術に静岡大学工学部の学生が挑んでいる。「夢の技術」とい

宇宙エレベーターへ一歩

静岡大、夢の技術に挑戦



超小型衛星打ち上げケーブル実験開始

「宇宙エレベーター」は、地球表面から宇宙空間まで、ケーブルで物資を運ぶための構想だ。超小型衛星「STARS-C」が打ち上げられるのは、ケーブル実験の第一歩だ。



STARS-Cの実験イメージ



よしかわ みずの 吉川 瑞乃さん(高志中2年)

宇宙技術には危険が必ずついてくる。昨年の課外授業で、今までに何人もの宇宙飛行士たちが実験・飛行中に亡くなったことを学んだ。宇宙エレベーターが実用化すれば、そのような危険は減るだろうし、宇宙旅行も簡単にできるようになることだろう。一方で、いつか私たちが地球を出ていかなければならない日も来るかもしれない。宇宙エレベーターの実現に向けて、研究の規模を広げて世界中で研究し、協力していつかほしいと思う。